

▶ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月に開催

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
電話 0120-094-777 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告
当社ホームページ <http://www.asahimatsu.co.jp/> に掲載

単元株式数 1,000株

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

株主様へのご優待 3月31日現在で、1,000株以上ご所有の株主各位に対し、3,000円相当の凍豆腐、即席みそ汁等、当社製品の詰め合わせを贈呈いたします。

【株式に関するお手続きについて】

1. 住所変更、単元未満株の買取などのお申し出

証券会社に口座のある株主様 ⇨ 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

特別口座に口座のある株主様 ⇨ 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 未受領の配当金の支払いのお申し出

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

【特別口座について】

株券電子化移行時点で「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）に預けられていない株主様の株式については、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社に口座（特別口座）を開設し、管理しております。特別口座についてのご照会等の各種お申し出は、上記電話照会先にお問い合わせいたします。

第 64 期中間(第2四半期)報告書

平成25年4月1日 ▶ 平成25年9月30日



▶ 株主の皆様へ



代表取締役社長 木下 博隆

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第64期中間（第2四半期）報告書（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスへの期待や、金融緩和により円高是正と株高が進み景気回復に向けて明るい兆しが見られるようになってまいりました。

このような状況の中、当社グループは穀物相場の高止まりや円安による原材料調達価格の上昇、重油やLPガス等の燃料の高止まりなど自助努力では吸収できない部分を販売価格へ転嫁すべく、主力事業の凍豆腐、加工食品を中心とした収益構造の改善に努めてまいりました。

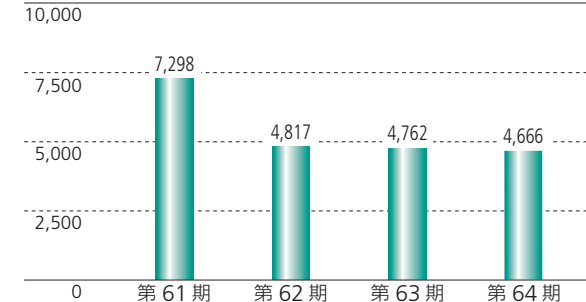
その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は46億6千6百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、業界のリーダーシップをとり、他社に先行し売上原価の高騰分を販売価格へ転嫁できるよう交渉を進めており、同時に販売促進費の削減を販売先へ依頼してまいりました結果、夏場の記録的な猛暑も重なり販売数量は減少し、売上高は18億4千9百万円（前年同四半期比3.7%減）と減少いたしました。なお、当社食品研究所が長年研究を行ってきました、凍豆腐が持つ中性脂肪上昇抑制作用やコレステロール低下作用などの健康機能性について、業界団体を通じ広報活動を行うなど、市場の維持拡大に努めました。加工食品においては、袋入りで減塩タイプの徳用品や好評を得ていた納豆汁の徳用品を発売し、3食タイプ主力品のリニューアルを行いました。カップ入りでは具材をリニューアルした商品を発売するなどの販売活動を行いました。しかしながら、凍豆腐と同様に販売促進費の削減や猛暑もあり、売上高は20億円（前年同四半期比4.0%減）となりました。その他の食料品では医療用食材などが堅調に推移しており、売上高は7億9千9百万円（前年同四半期比7.7%増）と増加いたしました。

利益面では、売上原価上昇分の販売価格への転嫁は遅れており、販売数量も一時的に減少しているため、営業損失1億2千2百万円（前年同四半期は3千4百万円の損失）、経常損失1億6百万円（前年同四半期は5千5百万円の損失）、四半期純損失は1億1千5百万円（前年同四半期は9千8百万円の損失）となりました。

▶ 中間（第2四半期）連結業績の推移

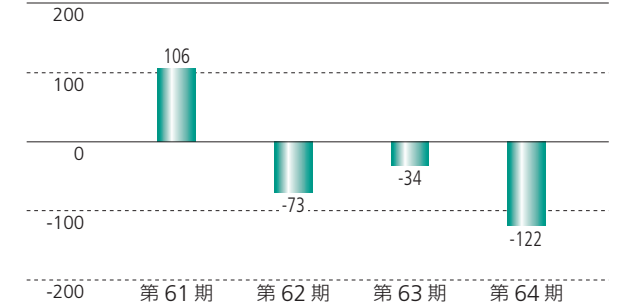
■ 売上高の推移

(単位：百万円)



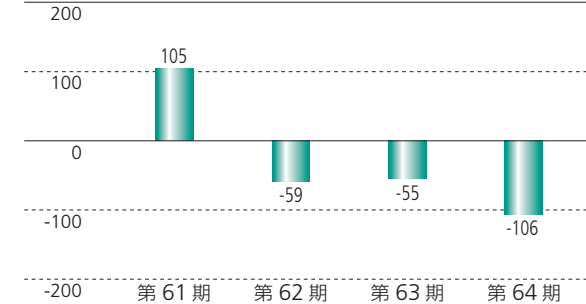
■ 営業利益の推移

(単位：百万円)



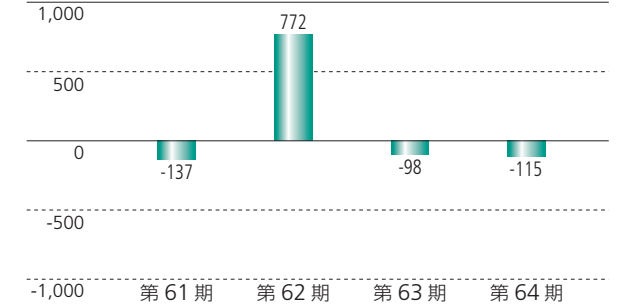
■ 経常利益の推移

(単位：百万円)



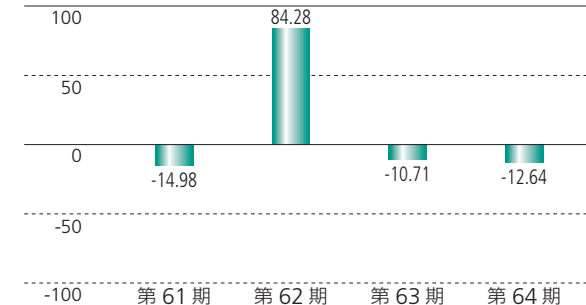
■ 四半期純利益の推移

(単位：百万円)



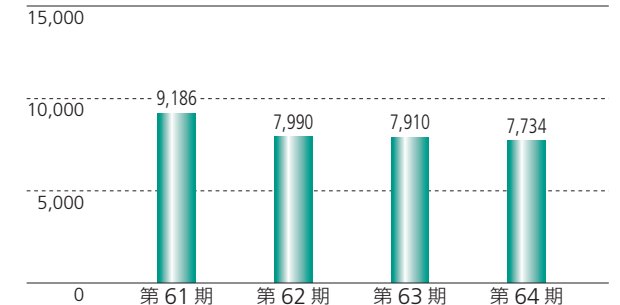
■ 1株当たり四半期純利益の推移

(単位：円)



■ 純資産の推移

(単位：百万円)



▶ 中間(第2四半期)連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	※ご参考 前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,372,459	2,107,404
受取手形及び売掛金	2,194,575	1,949,141
たな卸資産	1,124,276	1,186,128
繰延税金資産	2,019	2,553
その他	158,422	111,880
貸倒引当金	△1,857	△1,323
流動資産合計	5,849,896	5,355,784
固定資産		
有形固定資産	3,974,098	4,157,803
無形固定資産	144,714	199,657
投資その他の資産	554,859	568,886
固定資産合計	4,673,672	4,926,347
資産合計	10,523,569	10,282,132
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	961,818	879,116
短期借入金	33,601	36,648
リース債務	8,133	7,698
未払金	643,433	506,136
未払法人税等	18,349	13,231
賞与引当金	49,179	71,223
設備関係支払手形	19,784	119,542
その他	175,555	143,199
流動負債合計	1,909,855	1,776,796
固定負債合計	790,001	771,218
負債合計	2,699,856	2,548,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	4,522,377	4,360,835
自己株式	△126,634	△126,683
株主資本合計	7,646,010	7,484,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,606	148,652
為替換算調整勘定	8,230	60,847
その他の包括利益累計額合計	144,837	209,500
少数株主持分	32,864	40,197
純資産合計	7,823,712	7,734,117
負債純資産合計	10,523,569	10,282,132

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 中間(第2四半期)連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	※ご参考 前第2四半期 連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
売上高	4,762,701	4,666,434
売上原価	3,608,186	3,651,085
売上総利益	1,154,514	1,015,348
販売費及び一般管理費	1,188,817	1,137,478
営業損失(△)	△34,302	△122,129
営業外収益	13,449	17,055
営業外費用	34,654	1,866
経常損失(△)	△55,508	△106,940
特別利益	1,029	2,621
特別損失	33,323	3,974
税金等調整前四半期純損失(△)	△87,802	△108,293
法人税、住民税及び事業税	8,455	6,637
法人税等調整額	946	△671
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△97,203	△114,259
少数株主利益	908	1,486
四半期純損失(△)	△98,112	△115,746

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 中間(第2四半期)連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	※ご参考 前第2四半期 連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△34,914	38,569
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96,235	△265,804
財務活動によるキャッシュ・フロー	△363,083	△42,932
現金及び現金同等物に係る換算差額	442	5,113
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△493,790	△265,054
現金及び現金同等物の期首残高	1,097,616	1,217,432
現金及び現金同等物の四半期末残高	603,825	952,377

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

トピックス



こうや豆腐 DE はじめる **新** 食生活

毎日のおいしさと健康のために新食生活をはじめませんか？
 生活習慣病やメタボリックシンドロームが気になる人は、できれば食事の改善によって予防することが望ましい・・・と考えられます。
 旭松食品では《こうや豆腐》を毎日の食事に取り入れることで健康維持に役立てていただくよう、各種団体と取り組んでこうや豆腐の新たな健康機能性について啓蒙活動や研究発表をしています。

主な活動

<p>凍り豆腐の新しい健康機能性に関する記者会見 ~6月28日(金) 東海大学校友会館「霞の間」にて~ 企画：こうや豆腐普及委員会 (全国凍豆腐工業協同組合連合会)</p>	<p>凍り豆腐の大豆クラス2食物アレルギー性低減化について ~10月26日(土) 第52回日本栄養・食糧学会近畿支部大会にて~ 近畿大学農学部応用生命科学科・旭松食品(株)・NPO法人食の安全と安心を科学する会 共同研究</p>
<p>凍り豆腐と新規大豆食品を使用した減塩弁当の紹介 ~10月29日(火) 食育シンポジウム『減塩と健康』にて~ 主催：NPO法人食の安全と安心を科学する会 講演者：服部幸應(学校法人服部学園 理事長・校長、医学博士、健康大使) 安東克之(東京大学大学院医学系研究科分子循環代謝病学講座 特任准教授)</p>	<p>見直そう、日本食文化-高野豆腐でおいしく健康に- 講演会・パネルディスカッション開催 ~12月9日(月) 食withフォーラムにて(予定)~ 主催：こうや豆腐普及委員会 (全国凍豆腐工業協同組合連合会) 講演者：鎌田實(医師、作家) パネリスト：廣田孝子(京都光華女子大学健康科学部健康栄養学科教授) 白井操(料理研究家)</p>

会社の概要 (平成25年9月30日現在)

商号 旭松食品株式会社
 ASAHIMATSU FOODS CO.,LTD.
 本店 長野県飯田市駄科1008番地
 本社 大阪市淀川区田川三丁目7番3号
 設立 昭和25年12月19日
 資本金 1,617,844,105円
 関連会社 旭松フレッシュシステム株式会社
 青島旭松康大食品有限公司
 青島旭松康大進出口有限公司
 新鮮納豆株式会社 (連結対象外)
 従業員数 グループ人員：408名
 当社人員：276名
 主な事業内容 大豆加工製品の製造及び販売
 主要製品 家庭用凍豆腐、業務用凍豆腐、
 即席みそ汁・スープ類、
 介護食等
 主要な拠点
 本店 長野県飯田市駄科1008番地
 本社 大阪市淀川区田川三丁目7番3号
 支店 東京支店(東京都中央区)
 大阪支店(大阪市淀川区)
 営業所 北日本営業所(宮城県)
 中日本営業所(愛知県)
 中四国営業所(岡山県)
 福岡営業所(福岡県)
 工場 天竜第一工場・天竜第二工場・
 飯田工場・伊那工場
 (以上 長野県)
 研究所 食品研究所(長野県)
 ホームページアドレス <http://www.asahimatsu.co.jp/>

取締役及び監査役 (平成25年9月30日現在)

代表取締役社長 兼 営業本部長	木下博隆
取締役 生産本部長	湯沢浩人
取締役 経営戦略本部長 兼 経営企画部長	蒲田充浩
取締役 マーケティング開発本部長 兼 マーケティング部長	上辻徹
取締役 研究所長 兼 品質保証部長	村沢久司
常勤 監査役	佐々木寛雄
監査役	伊坪眞
監査役	田中健一郎